



**ウエストパック銀行  
2003年度 年次報告書要約**

## 株主の皆様へ

株主の皆様が、満足の行く、そして成長を続けている顧客基盤の恩恵を受けることを期待できるほど、うまく顧客経験を提供することは難しいことではありません。

それはビジネスがなしうる最もシンプルで、しかも最も効率的なことなのです。

というのも、組織の運営方法を変えるのは簡単なことではないからです。超大型タンカーの方向転換をさせるのがどんなに難しいかはよく言われることですが、それは、それがまさに現実を正確に反映しているからなのです。

組織の運営方法を変えることで、ウエストパック銀行は進歩を続け、その進歩が(金融、社会、環境の)持続力において2年連続で世界のリーダーたる地位をもたらしました。「アスク・ワンズ ～ 一度きりだけで」サービスで実績をあげたことは、それだけいっそう注目に値することです。

しかし同時に、当行は、お客様と株主の皆様に大きな利益を還元し続け、当行を他行と差別化するために改善が必要であることも十分に認識しています。

当行は将来に向けて、これまで以上に改善を続ける決意です。株主の皆様には、引き続きデビッド・モーガンのリーダーシップのもとで、当行の3つの柱である金融・社会・環境に配慮することを通じてめざましい業績をご期待いただけるものと思います。

普通のことを普通でないほどすばらしく行うことによって、必ずや驚くべき結果が生み出されるでしょう。

## 真実の進歩

ウエストパック銀行は、近年の年次報告書で掲げた目標に向かって進んでいる、すなわち株主の長期的利益のための組織改革が真実の意味で進んでいることをご報告できることを喜ばしく思います。

2003年度、当行は強固でバランスの取れた業績を挙げることができました。これは、収益が着実に拡大し、買収資産管理部門の統合および継続的な経費削減を集中的、かつ成功裡に行ったためです。

法人税引後利益は2,183百万豪ドルで、計上ベースでは特別項目(オーストラリアン・ギャランティー・コーポレーション・リミテッド(AGC)の売却益など)が発生した前年度の業績とほぼ同じでした。前年度の特別項目を除く業務基礎利益でみると、法人税引後利益は前年度比9%増加しました。

以下に述べるのは、今年度と昨年度の業務基礎利益を比較したものです。現金収入は10%増、1株当たり利益は9%増となり、当行の7-9%とした目標において高水準を達成しました。

このような好業績を受けて、取締役会は普通株式1株当たり40豪セント(完全非課税)の期末配当を2003年12月19日に支払うことを決定しました。中間配当38豪セントを加えると、年間配当は78豪セントになります。これは前年度を11%上回り、現金収入と非課税配当金の持続的成長に沿って配当金を増やすという政策を維持しています。配当性向は62.7%で、前年度の56.5%から上昇しました。

株主資本現金利益率は21%、株主資本利益率は19%となりました。経済的利益(資本コストを上回った純利益)は1,379百万豪ドルで前年度とほぼ同じでしたが、前年度の特別項目調整後では15%上回りました。

喜ばしかったのは、全ての業務分野で大幅な収益増となったことです。リスクが高いながらも比較的高収益を上げていたAGCの売却にもかかわらず、経常収益は10%増加しました。

ビジネス&コンシューマー・バンキング部門の収益は、マーケットシェアが1%上昇したことから、業務基礎利益ベースで16%の増加となりました。

ニュージーランドでは、貸付および預金の顕著な伸びがマージン低下を補い、利益(ニュージーランドドル建)は12%拡大しました。前年度不本意な業績に終わったインスティテューショナル・バンクは、通常取引の拡大と不良債権の激減から営業利益が39%増加しました。

また特記すべきこととして、ウエストパック・フィナンシャル・サービスズ、ロスチャイルド・オーストラリア・アセット・マネジメント、BTファンズ・マネジメントをBTフィナンシャル・グループ(BTFG)に統合し、計画を前倒しで進めたことです。今年度の営業利益は127百万豪ドルで、生命・リスク保険と生保業界への指標投資収益が持続的に拡大し、BTFGの現金収入は48%増の190百万豪ドルに達しました。

当グループの収益に対するコストの比率は54.7%から51.3%に低下しました。これは継続したコスト削減、AGC売却による影響ならびに資産運用会社の買収によるものです。ビジネス拡大に一層の投資をした後も、これまでの方策がさらなる効率を生み続けることでしょう。

資本及び一般貸出引当金に対する不良資産の比率、すなわち「資産の質」の比率は大幅に改善し、3.5%から2.9%に低下しました。貸付

金及び支払保証の総額に対する貸倒引当金の比率は、1.0%から0.9%にわずかながら低下しました。これは、主に貸付金が前年度比で18%増えたためです。当行は、資産の質と引当金により持続的な業績が実現されると確信しています。

ウエストパックは、今年度、資本構成の改善策を実施しました。2002年12月、ティア1ハイブリッド資本証券(ウエストパックFIRsTS)667百万豪ドルを、5,500人超のオーストラリア及びニュージーランド投資家向けに発行しました。FIRsTSはオーストラリア証券取引所で取引されています。2003年8月には、ティア1ハイブリッド資本証券750百万米ドルを主に米国機関投資家に販売しました。

当行は引き続き慎重な資本政策を取っていきますが、資本構成は多岐にわたっています。ティア1自己資本比率は2002年9月30日現在の6.5%から7.2%に上昇し、最低規制水準を大きく上回っています。

期末の株式時価総額は前年度の250億豪ドルから300億豪ドルに達しました。今年度、当行は、業績以上に実質的な進歩を遂げました。

当行は顧客サービスで業界ナンバーワンになるという決意のもとで、有能な26,800人の職員に重点をおいてきました。当行は、非常に献身的で熱意ある職員がいるからこそ卓越したサービスを提供できるという観点から、「アスク・ワンス ～ 一度きりだけで」サービスを行っており、その進捗状況はすでに目に見えるかたちとなって現れています。

さらに、グループ内に優れたガバナンスおよび責任あるビジネス習慣を浸透させることに重点を置く当行の姿勢は国内外で認められているとともに、当行の長期的持続力を支えていることを誇りに思います。

2003年7月、ウエストパックは3本柱である金融・社会・環境的業績にわたる進歩、目標および抱負を述べたソーシャル・インパクト・レポート第2版を発行しました。このレポートには、企業責任を当行のビジネスモデルに統合することにおける進展状況が詳述され、また、企業の健全性と業績に関する主要90指標における当行の実績が記載されています。

このような進展によって、当行は、ダウジョーンズの2003-2004年「持続力指数」による「企業持続力」で、2年連続で世界第1位の銀行に選ばれ、大きな評価を受けました。また当行は、オーストラリアのトップ100社を対象にした2003年RepuTex持続力ランキングでも第1位になり、AAA評価を得た唯一の企業となりました。

当行は、業績を支える金融・社会・環境面の持続力における当行の差別化を図っていくことに特に注意を払うとともに、優れたガバナンスと責任あるビジネス習慣のリーダーとしての地位を確立する所存です。

2002年は事業売却と買収の年でしたが、今年はその基盤固めの年になりました。今年度初めにBTファンズ・マネジメント買収を完了し、事業部門間のギャップを解消しました。当行は、今や価値あるオーストラリア・ニュージーランドの顧客基盤をより効果的に活用する十分な能力を

備えています。

すでに述べましたように、今年度の資産管理部門の業績はBT及びロスチャイルドの買収統合で飛躍的に進展し、当初の予定をはるかに上回るシナジー効果を達成しました。

また2002年10月、当行はヘースチングス・ファンズ・マネジメント株式の51%を取得し、インフラ、プライベート・エクイティ、資産運用市場において抜群の能力を発揮することによって、機関銀行部門の強みを補完いたしました。

私は、当行職員のもつ強みと多様性に感銘を受けています。彼らの献身と貢献は計り知れないほど大きなものであり、その努力に対し感謝の意を表します。

今年度は、シニア・エグゼクティブ・チームにいくつか異動がありました。前グループ・セクレタリー・アンド・ジェネラル・カウンスルのイアナ・アトラス(Ilana Atlas)が、グループ人事エグゼクティブに昇進し、アン・シェリー(Ann Sherry)はニュージーランド・太平洋バンキングのグループ・エグゼクティブに就任しました。リチャード・ウィルコック(Richard Willcock)は、法務部門責任者からグループ・セクレタリー・アンド・ジェネラル・カウンスルとなりました。

取締役会には2つの変更がありました。2003年2月6日、キャロライン・ヒューソン(Carolyn Hewson)が非業務執行取締役役に就任したことをご報告します。ヒューソンは、金融分野で豊富な経験を有した幅広いコミュニティー基盤、顧問経験を有しています。

ジョン・フェアファックスは7年間にわたり取締役会に多大な貢献をしたのち、2003年9月1日付で辞任いたしました。取締役会と株主に代わり、彼の価値ある貢献に感謝の意を表します。

今年の世界経済展望は好転しましたが、特に世界の安全保障はなお不確実です。しかし、オーストラリア・ニュージーランド経済は好調を維持し、当行は今年度に築いた強固な基盤によって利益を受けることができると確信しています。国内経済の安定を背景に、この時に、改善を行い、新たなイニシアチブを取るほうがはるかに簡単なのです。

顧客経験の目標を支えるためにグループ内で進められている多くのイニシアチブの成功は、さらなる勢いを与えるでしょう。

最後に、取締役会は、当行が株主の皆様にご確認たる結果を今後もお届けできる地位にあると確信しています。



会長  
レオン・エー・デーヴィス  
Leon A. Davis  
Chairman

# 財務書類

損益計算書 9月30日終了事業年度  
ウエストバック銀行およびその子会社

	注記	連 結			当行(親会社)	
		2003 百万豪ドル	2002 百万豪ドル	2001 百万豪ドル	2003 百万豪ドル	2002 百万豪ドル
受取利息	3	10,024	9,220	10,258	9,992	8,954
支払利息	3	(5,680)	(5,074)	(6,207)	(6,084)	(5,445)
純利息収益		4,344	4,146	4,051	3,908	3,509
利息以外の収益:						
受取手数料		2,515	2,266	2,099	2,692	2,393
支払手数料		(679)	(560)	(485)	(674)	(547)
資産売却収入		642	3,594	757	494	2,440
売却資産の簿価		(625)	(2,760)	(719)	(478)	(1,644)
資産管理による収益		1,293	108	566	-	-
生命保険の請求および契約債務の変動に係る費用		(547)	238	(51)	-	-
その他の利息以外の収益		387	92	370	1,529	215
利息以外の収益合計	4	2,986	2,978	2,537	3,563	2,857
経常収益		7,330	7,124	6,588	7,471	6,366
経常費用(貸倒引当金繰入額を除く):						
給与およびその他の人件費		(1,836)	(1,829)	(1,744)	(1,643)	(1,685)
設備および賃借費用		(596)	(589)	(648)	(547)	(555)
その他の費用		(1,494)	(1,577)	(1,178)	(1,639)	(1,589)
経常費用合計(貸倒引当金繰入額を除く)	5	(3,926)	(3,995)	(3,570)	(3,829)	(3,829)
貸倒引当金繰入額および法人税等考慮前経常利益		3,404	3,129	3,018	3,642	2,537
貸倒引当金繰入額	13	(485)	(461)	(433)	(481)	(358)
<b>税引前経常利益</b>		2,919	2,668	2,585	3,161	2,179
法人税等	6	(728)	(471)	(677)	(542)	(387)
<b>当期利益</b>		2,191	2,197	1,908	2,619	1,792
少数株主に帰属する当期利益		(8)	(5)	(5)	-	-
<b>ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益</b>		2,183	2,192	1,903	2,619	1,792
外貨換算積立金調整額		(156)	(76)	74	(147)	(77)
ウエストバック銀行株主に帰属し、株主持分に 直接認識される収益、費用および評価調整額合計		(156)	(76)	74	(147)	(77)
<b>所有者との取引以外で生じた株主持分の増減額合計</b>		2,027	2,116	1,977	2,472	1,715
その他エクイティ商品に係る分配控除後の普通株式 1株当たり利益(豪セント)	1(h)vi,8					
基本的		115.6	118.3	102.8		
完全希薄化後		115.3	117.9	102.4		

添付の注記1~44はオーストラリアの報告基準の目的により当該財務書類と不可分である。

アメリカ合衆国において一般に公正妥当と認められた会計原則(以下「US GAAP」という。)が適用されている場合、ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益、株主持分合計、資産合計および負債合計に対する重要な調整が要求されるが、その要約は注記45で開示されている。

日本語訳脚注: 当年度報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1~45は、この日本語版年度報告書では翻訳を省略している。

貸借対照表 9月30日現在  
ウエストバック銀行およびその子会社

	注記	連 結		当行(親会社)	
		2003 百万豪ドル	2002 百万豪ドル	2003 百万豪ドル	2002 百万豪ドル
<b>資産</b>					
現金および中央銀行預け金		1,786	1,669	1,643	1,656
他の金融機関に対する債権	9	6,035	5,242	4,531	3,543
商品有価証券	10	8,793	10,643	8,771	10,643
投資有価証券(連結ベースの時価は3,745百万豪ドル。2002年度は3,216百万豪ドル。)	11	3,656	3,313	1,767	2,423
貸付金	12	160,473	135,870	154,918	130,504
支払承諾見返		3,788	4,788	4,031	5,013
生命保険に関する資産		10,522	7,566	-	-
海外における中央銀行への法定準備預金		425	455	410	432
子会社債権		-	-	15,980	11,190
子会社に対する投資	38	-	-	5,908	7,030
営業権	15	2,558	1,754	1,297	1,388
固定資産	16	842	815	668	661
繰延税金資産	17	1,019	587	864	540
その他の資産	18	21,442	18,335	20,255	17,806
<b>資産合計</b>		<b>221,339</b>	<b>191,037</b>	<b>221,043</b>	<b>192,829</b>
<b>負債</b>					
他の金融機関に対する債務	19	3,831	4,731	3,094	4,708
預金および公的借入金	20	129,071	110,763	128,722	110,371
発行済債券	24	29,970	27,575	18,866	18,591
支払承諾		3,788	4,788	4,031	5,013
未払法人税等	21	310	537	303	577
繰延税金負債	21	246	80	208	94
生命保険契約債務		9,896	7,163	-	-
子会社債務		-	-	22,847	19,334
引当金	22	462	1,093	389	1,049
その他の負債	23	25,225	19,327	24,079	18,568
<b>借入資本を除く負債合計</b>		<b>202,799</b>	<b>176,057</b>	<b>202,539</b>	<b>178,305</b>
<b>借入資本</b>					
劣後債	24	3,971	3,795	3,971	3,795
無期劣後債	24	573	717	573	717
<b>借入資本合計</b>		<b>4,544</b>	<b>4,512</b>	<b>4,544</b>	<b>4,512</b>
<b>負債合計</b>		<b>207,343</b>	<b>180,569</b>	<b>207,083</b>	<b>182,817</b>
<b>純資産額</b>					
<b>株主持分</b>		<b>13,996</b>	<b>10,468</b>	<b>13,960</b>	<b>10,012</b>
当行(親会社)の持分:					
普通株式	25	3,972	3,503	3,972	3,503
積立金		(73)	82	(46)	104
利益剰余金		7,343	5,930	7,271	5,429
転換社債	25	-	-	2,252	465
無期キャピタル・ノート	25	-	-	511	511
<b>当行(親会社)の持分合計</b>		<b>11,242</b>	<b>9,515</b>	<b>13,960</b>	<b>10,012</b>
その他の株主持分:					
ニュージーランド・クラス株式	25	471	471	-	-
預託優先証券(TOPRS <sup>SM</sup> )	25	465	465	-	-
固定利付再設定信託証券(FIRsTS)	25	655	-	-	-
信託優先証券(TPS)	25	1,132	-	-	-
<b>その他の株主持分合計</b>		<b>2,723</b>	<b>936</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>ウエストバック銀行株主に帰属する株主持分合計</b>		<b>13,965</b>	<b>10,451</b>	<b>13,960</b>	<b>10,012</b>
少数株主持分		31	17	-	-
<b>株主持分合計</b>		<b>13,996</b>	<b>10,468</b>	<b>13,960</b>	<b>10,012</b>
偶発債務および契約債務	34				

添付の注記1~44はオーストラリアの報告基準の目的により当該財務書類と不可分である。

US GAAPが適用されている場合、ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益、株主持分合計、資産合計および負債合計に対する重要な調整が要求されるが、その要約は注記45で開示されている。

日本語訳脚注: 当年度報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1~45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

キャッシュ・フロー計算書 9月30日終了事業年度  
ウエストバック銀行およびその子会社

	注記	連 結			当行(親会社)	
		2003 百万豪ドル	2002 百万豪ドル	2001 百万豪ドル	2003 百万豪ドル	2002 百万豪ドル
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>						
利息受取額		9,948	9,130	10,080	9,948	8,925
利息支払額		(5,724)	(5,269)	(6,461)	(6,141)	(5,528)
配当金受取額(生命保険を除く)		36	27	51	1,050	363
利息以外の受取額		4,151	3,711	3,367	4,001	3,702
経常費用支払額		(3,318)	(3,291)	(3,330)	(3,045)	(3,313)
商品有価証券の純減(増)		1,759	(791)	(143)	1,795	(791)
法人税等支払額(生命保険を除く)		(1,131)	(699)	(527)	(870)	(454)
生命保険:						
保険契約者および顧客からの入金		2,958	2,531	2,427	-	-
利息その他類似の項目		119	58	138	-	-
配当金受取額		379	323	362	-	-
保険契約者およびサプライヤーへの支払		(3,025)	(1,961)	(2,249)	-	-
法人税等支払額		(60)	(3)	(64)	-	-
<b>営業活動から得た現金・預金(純額)</b>	43	<b>6,092</b>	<b>3,766</b>	<b>3,651</b>	<b>6,738</b>	<b>2,904</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>						
投資有価証券の売却による収入		189	492	508	119	492
投資有価証券の満期償還による収入		1,260	335	139	713	333
投資有価証券の購入		(2,114)	(1,873)	(866)	(398)	(1,063)
貸付金証券化による収入		247	2,472	202	247	2,472
純(増)減:						
他の金融機関に対する債権		(698)	(212)	(1,598)	(858)	1,140
貸付金		(25,942)	(25,501)	(13,304)	(25,480)	(25,613)
生命保険に関する資産		(186)	(316)	134	-	-
海外における中央銀行への法定準備預金		(58)	(19)	193	(55)	(17)
子会社債権		-	-	-	(5,390)	(401)
子会社に対する投資		-	-	-	(1,435)	(2,206)
その他の資産		(1,497)	(967)	186	(1,238)	(620)
固定資産の購入		(323)	(284)	(299)	(282)	(258)
固定資産の売却による収入		85	262	171	71	192
その他の投資の売却による収入		8	246	-	8	40
子会社からの資本の送金による収入		-	-	-	2,567	-
子会社の取得(取得現金控除後)	43	(823)	(328)	5	-	-
子会社および事業の売却(譲渡現金控除後)	43	360	2,136	44	296	1,716
<b>投資活動に使用した現金・預金(純額)</b>		<b>(29,492)</b>	<b>(23,557)</b>	<b>(14,485)</b>	<b>(31,115)</b>	<b>(23,793)</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>						
借入資本の発行		1,679	-	350	1,679	-
借入資本の償還		(978)	-	(813)	(978)	-
普通株式の発行による収入		87	91	110	87	91
ニュージーランド・クラス株式の発行による収入		-	-	203	-	-
FIRsTSの発行による収入(発行費12百万豪ドル控除後)		655	-	-	655	-
TPSの発行による収入(発行費13百万豪ドル控除後)		1,132	-	-	1,132	-
株式の買戻		-	(408)	(753)	-	(397)
純増(減):						
他の金融機関に対する債務		(695)	(949)	1,799	(1,333)	(970)
預金および公的借入金		19,384	20,095	3,553	19,560	20,364
発行済債券		3,658	2,495	7,007	1,220	(316)
子会社債務		-	-	-	3,513	3,806
その他の負債		(368)	46	447	(143)	(28)
配当金および分配金の支払		(1,038)	(977)	(836)	(1,029)	(959)
少数株主に対する配当金の支払		(2)	(2)	(1)	-	-
<b>財務活動から得た現金・預金(純額)</b>		<b>23,514</b>	<b>20,391</b>	<b>11,066</b>	<b>24,363</b>	<b>21,591</b>
現金・預金および現金等価物の純増加額		114	600	232	(14)	702
現金・預金および現金等価物の為替相場変動による影響額		3	(10)	11	1	4
現金・預金および現金等価物の期首残高		1,669	1,079	836	1,656	950
<b>現金・預金および現金等価物の期末残高</b>	43	<b>1,786</b>	<b>1,669</b>	<b>1,079</b>	<b>1,643</b>	<b>1,656</b>

営業活動から得た現金・預金(純額)とウエストバック銀行株主に帰属する当期利益との調整は注記43において詳述されている。

添付の注記1~44はオーストラリアの報告基準の目的により当該財務書類と不可分である。

US GAAPが適用されている場合、ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益、株主持分合計、資産合計および負債合計に対する重要な調整が要求されるが、その要約は注記45で開示されている。

日本語版脚注: 当年度報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1~45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

## ウエストバック銀行の株主に対する独立監査報告書

### 監査意見

私どもの意見によれば、ウエストバック銀行の財務報告は、

- ・ オーストラリアの2001年会社法に規定されているとおり、ウエストバック銀行およびウエストバック銀行グループ（以下に定義）の2003年9月30日現在の財政状態および同日に終了した事業年度の業績について、真実かつ公正な概観を与えており、
- ・ オーストラリアの2001年会社法、会計基準および財務報告に関するその他の法規、ならびに2001年会社規制法（the Corporations Regulations 2001）に準拠して表示されている。

この監査意見は、私どもの監査報告書の以下の部分とともに読まなくてはならない。

### 範囲

財務報告および取締役の責任

財務報告は、ウエストバック銀行（以下「ウエストバック」という。）およびウエストバック銀行グループ（以下「当グループ」という。）の2003年9月30日に終了した事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主持分変動表およびキャッシュ・フロー計算書、財務書類注記、ならびに取締役の宣言で構成される。当グループは、ウエストバックおよび当事業年度におけるウエストバックの子会社によって構成される。

ウエストバックの取締役は、2001年会社法に準拠した財務報告の作成および真実かつ公正な表示についての責任を負っている。これには、適切な会計記録、ならびに不正および誤謬を防止し、発見することを目的とした内部統制の維持、また当財務報告に固有の会計方針および会計上の見積りについての責任が含まれる。

### 監査アプローチ

私どもは、ウエストバックの株主に対して意見を表明するために、独立した監査を実施した。私どもの監査は、財務報告に重要な虚偽表示がないことについて合理的な確証を得るために、オーストラリアの監査基準に準拠して実施された。監査の特性は、専門家の判断の利用、試査、内部統制に固有の制限、ならびに絶対的ではないが相当程度の証拠の入手可能性といった要素によって影響される。そのため、監査によってすべての重要な虚偽表示が発見されると保証することはできない。

オーストラリアの2001年会社法、会計基準および財務報告に関するその他の法規に準拠して、財務報告がすべての重要な点に関して公正な概観を与え、ウエストバックおよび当グループの財政状態ならびに経営成績およびキャッシュ・フローに示される業績に関する私どもの理解に一致しているかどうかを評価するために、私どもは手続を実施している。

- ・ 私どもは以下の手続に基づいて、私どもの監査意見を作成している。
- ・ 財務報告の金額および開示を裏付ける証拠を提供する情報についての試査による検証。
- ・ 適用されている会計方針および開示の適正性ならびに取締役が行った重要な会計上の見積りの合理性に対する評価。

この監査報告書が年次報告書に含まれる場合、私どもの手続には、当財務報告との重要な矛盾点がないかどうかを判断するために年次報告書中のその他の情報を読むことが含まれる。

私どもの手続の性質および範囲を決定する上で、私どもは財務報告に対する経営陣による内部統制の有効性を検討したが、私どもの監査は内部統制に対して保証を提供することを目的としていない。

私どもの監査には取締役もしくは経営陣が行った事業判断についての慎重性の分析は含まれない。

### 独立性

私どもの監査の実施にあたり、私どもはオーストラリアの職業倫理基準および2001年会社法のうち該当する独立性の要件に従っている。

ブライズウォーターハウスクーパース



D.H. アームストロング  
パートナー

シドニー、オーストラリア  
2003年10月30日

日本語版脚注：当年次報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1～45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

## ウエストバック銀行の取締役会および株主に対する独立監査人の監査報告書

私どもの意見によれば、添付の連結貸借対照表、関連する連結損益計算書、キャッシュ・フロー計算書および株主持分変動表は、ウエストバック銀行およびその子会社（以下「当グループ」という。）の2003年および2002年9月30日現在の財政状態ならびに2003年9月30日に終了した3年間の各事業年度の経営成績およびキャッシュ・フローについて、オーストラリアの2001年会社法、会計基準、その他の開示に関する専門的法規および2001年会社規制法（the Corporations Regulations 2001）に準拠して、すべての重要な点に関して公正な概観を与えている。当該財務書類は、ウエストバック銀行の取締役の責任であり、私どもの責任は、私どもの監査に基づいて、当該財務書類に対する意見を表明することである。私どもは、財務書類に重要な虚偽表示がないことについて合理的な確証を得るために私どもが監査を計画し実施するよう求めた、オーストラリアおよびアメリカ合衆国において一般に公正妥当と認められた監査基準に準拠して、当該財務書類の監査を実施した。監査には、財務書類の金額および開示を裏付ける証拠の試査による検証、適用されている会計方針および経営陣による重要な見積りの評価、財務書類の全体的表示の評価が含まれる。私どもは、私どもの監査が、私どもの意見に関して合理的基礎を提供するものと考えている。

注記1(h)viiiに記述されているとおり、当グループは、2003年10月1日よりAASB第1044号に準拠して配当金に対する引当金の認識時期を変更した。さらに当グループは、取締役および業務執行役員の報酬に関する会計方針を変更した。現在当該報酬には、ASCIのガイドラインに準拠して、ストック・オプション、業績連動型オプション、業績連動型新株引受権および株式評価権の評価額が含まれている。注記1(h)viiiに記述されているとおり、当グループは、生命保険および資産運用業務に関連した取得原価、退職手当ならびにテクノロジー業務の外注および不動産担保履行業務に関連して発生し資産計上された費用に関する会計方針を、2001年10月1日現在で変更した。

オーストラリアにおいて一般に公正妥当と認められた会計原則は、いくつかの重要な点に関して、アメリカ合衆国において一般に公正妥当と認められた会計原則とは異なる。後者の会計原則を適用することにより、2003年9月30日に終了した3年間の各事業年度のオーストラリア・ドル表示による連結純利益の算定、ならびに2003年および2002年9月30日現在の豪ドル表示による連結株主持分および連結財政状態の算定は、財務書類に対する注記45に要約されている範囲内で影響を受ける。



ブライズウォーターハウスクーパース  
シドニー、オーストラリア  
2003年10月30日

日本語版脚注：当年次報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1～45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

ABN 33 007 457 141

ウエストパック銀行 東京支店 〒105-0001 東京都港区虎ノ門五丁目2番6号 虎ノ門第2ワイコビル4階  
TEL: (03) 3438-3080 Fax: (03) 3438-3064

\*この日本語版年次報告書は英語版の抄訳です。英語原版をご希望の方は下記にご請求下さい。  
三菱信託銀行 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 TEL.03-5391-1900 (代)

また当行のインターネットホームページで完全な財務報告にアクセスすることも可能です。URLアドレスは

[www.westpac.com.au](http://www.westpac.com.au)